

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



ま え し ろ て つ
真栄城 哲 議員



■西地区の予算確保はどうなった!!

問 昨年5月、本町議会は西原西地区土地区画整理事業の安定的な予算確保について意見書を県や国の関係大臣等へ提出した。その後予算措置の進展と現状を聞く。

■町道事業を質す

問 事業の進捗率および完成予定と今年度予算を聞く。

建設部長

東崎・兼久線の進捗率86%、完成予定令和7年、予算1億2,925万円。兼久・安室線の進捗率11%、完成予定令和8年、予算875万円。呉屋・安室線の進捗率13%、完成



や び く み つ る
屋比久 満 議員



■地域コミュニケーション交通の整備を!!

町長 約束された予算ではない。しかし、今回2億円を確保しなければ事業が進められない。今後の交渉を進めていく必要がある。

■問

町長 県から国の総合経済対策による追加の補助金増額の話があり、2億円の追加要望を行った。本町・議会のそれぞれの立場からの要望書・意見書がしっかり形になったものではないかと考える。

■問

追加の2億円と通常の約1億円の予算措置としても残工事費約60億円なので、完了までに20年という時間がかかる。継続的に2億円は確保できるのか。

■問

本町は平成20年度に西原町公共交通会議を設置し、実証実験等を行った経緯がある。その後議論がされていないが理由を聞く。

総務部長

コミュニティバス運行が目的で、結果収支が赤字となり取りやめた。

■問

当時から14年の歳月が過ぎ、現在の社会状況は当時と大きく変化し、必要性は重要と考える。

総務部長

県が取組む公共交通の利用を働きかける取組みが重要。実施可能な公共交通の取組みの可能性を検討していきたい。

■ママ、パパのケアを考えよう!!

問 子育て応援・情報交換の場所づくり。子供の成長に一番のキー

■待機児童問題を聞く

の直進車両の拡幅および我謝から南風原向けの右折だまり矢印の時間帯の延長等について提案した。

■問

町内保育園の待機児童数を聞く。

福祉部長

令和4年4月1日時点で31人。内訳は0歳児2人、1歳児12人、

パーソンは親である。親が心身ともに健全であることが子供にとって幸せだと考える。町の取組みを聞く。

こども課長

西原白百合保育園で木曜日に子育て相談の日を開催。なぎさ保育園では、水曜日に子育て相談といった日を設けている。

■問

2カ所だと距離的に遠い方が出てくるが。

こども課長

各地域の児童館で、マミーキッズクラブというものがありコミュニティセンターが図れる。



西原西地区
土地区画整理事業区域



こども課長

県外保育士誘致事業で、単身者は20万円、家族持ちは40万円、また今年度から町単独事業として保育士で就職した者に1人10万円を支給することとしている。

その他の質問

- 幹部会議の議事録の作成について
- 地域清掃作業について
- 児童虐待問題について

予定令和14年、予算ゼロ。兼久・仲伊保線の進捗率75%、完成予定令和10年、予算180万6,000円。小波津川北線の進捗率90%、完成予定令和4年、予算4,554万4,000円。小波津川南線の進捗率76%、完成予定令和10年、予算ゼロ。

問 浦西高架橋から坂田交差点までの県道の進捗と完成年度を聞く。

建設部長 進捗率96%で工事は74%、令和6年度完成予定。

問 国道329号与那原バイパスが我謝交差点から同信号まで朝夕大混雑しているが町として要請等の考えはあるか聞く。

町長 4月には総合事務局次長、5月には南部国道事務所長に、交差点立体化の必要性と我謝から与那原向け

2歳児4人、3歳児13人。

問 保育園の受入れ人数が足りないのか保育士が足りないのかを聞く。

福祉部長 認可園の施設自体の認可定数には問題ないが、保育士不足は19人。

問 保育士不足解消の施策を聞く。



国道329号線与那原バイパス工事に伴う我謝交差点混雑は！



子ども医療費高校生まで無償化へ！

問 こども医療費助成制度を現行から18歳までに引き上げると、どれくらいの予算が想定されるか。

福祉部長 現行の中学卒業までから高校卒業まで拡充した場合、今年度予

算より約2,400万円の増額が見込まれる。

問 西原町には、財政効果を生む可能性のある事業は多数あると思う。そういった圧縮を見て事業に取組んでほしい。その理由は、その方向性で行くと決めておかないと、財政が圧縮されたとしても他の予算に回っていくことになる。町長に聞きたいのは、何を優先順位として政策を実現させていくのかという部分で、この事業もすっかり念頭に置いてほしいがどうか。

町長 思いの中には多くの人が望んでいるそういった事業が展開できるように、頭の中に描きながら、どういった形でそれを解消していくのかという事を今取り上げるといいう意味では、いい提案だと私は思っている。

地域の足をできることから始めよう！

問 福祉行政について。コミュニティバス等地域の交通手段の要望は長年の課題であるが、私が今回提案したいのは、例えば遠いエリアの月1、週1、買い物バスということを使うのはいいのかなと思う。今できることを1個ずつ、1日だけでもいい。そういった事を試したほうがいいのかなと思っている。

福祉課長 今後高齢者のニーズとして、何に困っているのかというところについて西原町の社協の協力を得ながら地域の意見を拾うことにまずは努めていきたいと今感じている。また議員から提案のバス事業についても、西原

町、社協ともまだこういった話し合いを行っていないので、今後そういった協議の場を持って意見交換からまずは初めてみたいと感じる。

その他の質問

- 災害時の緊急的な電源確保のアナウンス
- 水路を活かしたまちづくり
- 行政サービスは町民に寄り添った対応を
- 今後のプールの維持管理は
- 運動公園の指定管理者制度への移行は



一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。